

令和7年度
新潟県農業再生協議会
(令和8年2月26日開催)

議事録

令和7年度新潟県農業再生協議会 議事録

日時：令和8年2月26日

午前9時30分～10時30分

場所：新潟県自治会館 201 会議室

開会 事務局

- 令和7年度新潟県農業再生協議会を開会する。
- はじめに、本協議会の石山会長より、開会の御挨拶を申し上げる。

開会の挨拶（石山会長）

- 本日は、ご多用のところ、会員の皆様からご出席を賜り、感謝申し上げます。開会に先立ち、一言ご挨拶申し上げます。
- 現在の米をめぐる状況については、全国的に令和7年産米が豊作基調であった一方で、スーパーなどの店頭における販売価格は依然として高値で推移し、販売状況が鈍くなっており、今後の在庫の積み上がりが懸念される所。
- 米主産県である本県が、我が国の食料供給基地として、水田機能を維持しながら持続可能な水田農業を展開していくためには、主食用の米のみならず、非主食米などの原料米等を安定生産・安定供給していく必要があると考えている。
- 令和8年産に向けては、国内外の消費者や、原料米を求める県内の食品製造事業者の皆様に対し、新潟米を安定供給できるよう、昨年11月に酒造好適米や非主食用米等についても、県生産目標を設定したところであり、本日は、昨今の需給環境を踏まえ、令和8年産に向けた推進方針の確認と併せ、産地交付金の活用方針について検討し、需要に応じた生産に着実に取り組んでまいりたいと考えている。
- 最後になるが、本日御参集の皆様から忌憚のない御意見を賜るようお願い申し上げます。開会のあいさつとさせていただきます。

事務局

- 本協議会は原則公開としており、議事録についても、新潟県農業再生協議会のホームページに公開することとなっているので、承知願う。
- 本日の出席状況を別紙の出席者名簿で確認する。

～出席者名簿により出席確認～

- それでは、これからの進行について、石山会長にお願いしたいが、いかがか。

会員：異議なし

事務局

- それでは、石山会長にお願いする。

石山会長

- 次第に沿い、議事の進行を務めさせていただく。
- なお、本日の議事録については、事務局で作成することとし、議事録署名人の選任については、慣例により一任いただきたいが、いかがか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、議事録署名人を、新潟県農業共済組合の佐々木組合長理事、新潟県担い手育成総合支援協議会の伊花事務局長にお願いする。
- それでは、情勢報告として、北陸農政局新潟県拠点の田口地方参事官から説明いただく。

北陸農政局新潟県拠点 田口地方参事官

～食料システム法に関する地方説明会（資料1）について説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問を受け付けるが、いかがか。
- 特にないようなので、協議事項に移る。
- 「令和8年産の需要に応じた生産」について、県農産園芸課の小根沢課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 小根沢課長

～「令和8年産米の需要に応じた生産及び産地交付金の活用方針について」(資料2)
のうち、「令和8年産米の需要に応じた生産」を説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問を受け付けるが、いかがか。
- ないようなので、事務局案とさせていただくがよろしいか。

～会員：異議なし～

- それでは、事務局案のとおりとさせていただきます。
- 続いて、「令和8年度の産地交付金の活用方針」について、県農産園芸課の小根沢課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 小根沢課長

～「令和8年産米の需要に応じた生産及び産地交付金の活用方針について」(資料2)
のうち、「令和8年度の産地交付金の活用方針」を説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問を受け付けるが、いかがか。
- ないようなので、事務局案とさせていただくがよろしいか。

～会員：異議なし～

- それでは、事務局案のとおりとさせていただきます。
- 以上で本日用意した内容は終了となる。
- 議事の進行に協力いただき感謝申し上げます。以上で本日の議事は終了させていただきます。
- それでは、事務局に進行をお返しする。

事務局

- 閉会にあたり、新潟県農林水産部の神部部長から閉会の挨拶を申し上げます。

新潟県農林水産部 神部部長

- 閉会にあたり一言御挨拶申し上げる。
- 本日は8年産米の産地交付金の活用方針について御審議、御承認いただき感謝申し上げます。
- 来週から3月となる。地域によっては雪が多く、中山間地域では出足が遅くなり
そうな地域もあるが、平場は、この暖かさで加速的に雪が解け、例年どおりに水田
作業が始められる状況と考えている。
- このように忙しい春の作業が始まろうとしているが、米穀情勢は楽観できない状
況にあり、消費者の皆様への購入意欲が高まっていない、なかなか米が動かないとい
うのが実態と思う。
- こうした中で、令和8年産米をどのように進めていくかというのは、皆様に合意
いただいたとおり、あくまでも需要に応じて多様な米づくりをしていくというところ
にある。
- 本日合意いただいた産地交付金や、従来からの水田活用交付金、また、本日説明
した県単事業も活用し、関係団体の皆様と一緒にオール新潟で、主食用米と非主食用
米を合わせた水田農業所得の最大化を進めていきたいと考えている。引き続き、
御尽力いただきたい。
- 以上で閉会の挨拶とする。

事務局

- 以上をもって、本日の新潟県農業再生協議会を閉じさせていただく。

議事録署名人

伊 志 純 雄 

議事録署名人

佐 以 赤 豊 

